

コロナ禍から抜け出して4年ぶり、一般市民を迎え入れた対面での大学祭実施。第49回福山大学三蔵祭「翔～共に“翔ける+懸ける”時代をもう一度～」は10月28日、29日の2日間で成功裏に終わりました。久々の熱気、賑わい、まさしく今年の三蔵祭のテーマ通り、若者たちは羽ばたき、チャレンジし、漲る青春のパワーで盛り上がっていました。うち、留学生も学園祭の中で、日本人学生と協力しながら、活躍し、また存分に楽しんでいました。

まず、10月28日（土）国際センター留学生部（孔子学院協賛）は、グローバルラウンジで「日中学生交流クイズ大会」を開催しました。クイズ大会の出場者は、日中学生2人1組で、中国と日本の文化、地理、歴史の問題に挑戦し、トーナメント方式（勝ち抜き戦）で勝負しました。



クイズ大会前、留学生と日本人学生がクイズ問題の範囲について一緒に学習しました。漢字の読み方は難しいですね。



孔子学院の藤野 肇副学院長による挨拶。

審査員：曾 婧婧先生、顔 柯含先生

司会者：黄 従康くん（経済研究科 M2 留学生会会長）

陳 思琦さん（国際経済学科 2 年生）



クイズ大会時の風景。分かっているはずの中国の問題でも、日本語で聞き取れない場合もあります。日本人学生と二人三脚でチャレンジしました。



どっちが先に早押しをしたのかな。熾烈なバトルが交わされていました。



1等賞を獲得したのは、周家輝くん（国際経済学科1年生）と  
小林菜緒さん（海洋生物学科1年生）です。  
おめでとうおめでとうございます！



大会後の記念撮影。

2等賞：董一泓さんと近藤乙葉さん（メディア学科1年生）

3等賞：張子叡さんとグルング・プラタプくん（国際経済学科2年生）



先生たちも大変お疲れ様でした。

前方列左から順番で藤野肇孔子学院副院長、李森留学生部部长  
後方列左から順番で曾婧婧先生、王報平孔子学院副院長、  
趙建紅留学生部副部长、張素玲孔子学院専任講師、顔柯含先生

また留学生会は模擬店で「ベアフィギュアキーホルダ」作りを行い、家族連れの方たちを楽しませました。具体的にクマ型のフィギュアキーホルダに絵の具を混ぜ合わせたものを塗り、シュールな色合いになるのを楽しむ工作ですが、中国語で「流体熊（リユーティーション）」と言って、中国で大人気だそうです。



(2023年留学生会役員：会長 黄 従康くん（経済研究科 M2）右3  
 副会長 張 巍韋應さん（税務会計学科 3年生）左2  
 副会長 劉 旭霆くん（スマートシステム工学科 4年）右1  
 会計 韓 雪さん（税務会計学科 3年生）左3  
 左1 孔 芊頤さん（税務会計学科 4年生）、右2 趙 建紅先生（留学生部副部長）



自分の好きな色でオリジナルな「My 流体熊」が出来たかな。



他にも学部学科での模擬店、他言語による演劇や仮装大会でも留学生たちが大いに活躍していました。留学生の皆さんが福山大学でたくさんの友達に恵まれ、充実した留学生活を送ることができるよう、心より願い、応援しております。

